

教職大学院学校管理職養成コース派遣教員と 岐阜県教育委員会との懇談会を開催しました

令和6年12月13日（金）に、岐阜県教育委員会から岐阜大学教職大学院学校管理職養成コースに派遣されている現職教員の1年院生14名が、本学が主催する教育委員会との懇談会において開発実践報告の中間発表を行いました。

開発実践とは、教職大学院の学修の中核であり、学校や地域から委託された教育課題を解決するための実践を開発するものです。懇談会では、院生それぞれが取り組み状況を報告し、岐阜県教育委員会の山田義務教育課長、高木高校教育課教育主管、渡辺義務教育課教育主管から講評をいただき、今日の学校教育課題に取り組んでいることなどが評価されました。また、広い教養を身につけて管理職としてのバランスをとること、教職員中心に関係者の理解や納得を得ながら実践を進めること、汎用的・持続的な取り組みとすること、課題をより明確にすること、無知にならないよう学びを深めること、行政で推進できることも視野に入れることなど、多くのご指導とともに、一人一人に対しても温かいコメントやアドバイスがありました。

本懇談会は、教職大学院の学修が管理職としての力量を向上させるとともに、委託された課題の解決を通じて学校や地域に資するための貴重な機会となりました。

